

令和3（2021）年度採用 特別研究員説明会 （第一部 制度概要・申請手続編）

2020.3.10

研究資金支援課研究資金助成グループ

Mail : j-fellow@jim.titech.ac.jp

電話 : 03-5734-3806（内線 7221）

受付時間 : 8:30~17:15(12:15~13:15は昼休み)

事務室 : 事務局3号館 2階

特別研究員制度について

特別研究員制度とは

特別研究員制度は、我が国の優れた若手研究者に対して、自由な発想のもとに主体的に研究課題等を選びながら研究に専念する機会を与え、研究者の養成・確保を図る制度です。

特別研究員として採用された者には、研究奨励金が支給されるほか、科研費(特別研究員奨励費)の応募資格が与えられます。



(博士課程在学者対象)

DC1, DC2



(博士学位取得者対象)

PD, RPD ※令和3年度よりSPDの選考はありません。

特別研究員に与えられるもの

◆研究奨励金

月々の「給与」のようなもの <ご自身の個人口座に振り込まれる>

DC1,DC2・・・月額 200,000円

PD,RPD・・・月額 362,000円

◆科研費（特別研究員奨励費）

科研費（特研費）の応募資格が与えられます。

研究遂行のための国からの**補助金** <東工大に振り込まれ、大学で管理>

- ・補助金適正化法（法律）
- ・科学研究費補助金取扱規則（J S P S 規則）
- ・東工大の会計基準（所属研究機関の規則）

特別研究員の制限

- 特別研究員以外の身分を持たないこと
→就職が決まった場合には、特別研究員を辞退する必要がある
- 特別研究員の義務を遂行すること
→研究専念義務や研究報告書の提出
- 国費を原資とした資金援助を受けないこと
×JASSO(日本学生支援機構)奨学金、国費留学生の母国からの奨学金

遵守事項および諸手続の手引：http://www.jsps.go.jp/j-pd/pd_tebiki.html

申請資格について

申請資格・支給経費・採用期間



◆特別研究員-DC

平成32(2020)年4月1日現在、我が国の大学院博士課程に在学し、次のいずれかに該当する者
(外国人も含む)

【DC1】

- 1.区分制の**博士課程後期第1年次相当**(在学月数12ヶ月未満)に在学する者
- 2.一貫制の博士課程第3年次相当(在学月数24ヶ月以上36ヶ月未満)に在学する者
- 3.後期3年の課程のみの博士課程第1年次相当(在学月数12ヶ月未満)に在学する者
- 4.医学、歯学、薬学又は獣医学系の4年制の博士課程第2年次相当(在学月数12ヶ月以上24ヶ月未満)に在学する者

【DC2】

- 1.区分制の**博士課程後期第2年次以上の年次相当**(在学月数12ヶ月以上36ヶ月未満)に在学する者
- 2.一貫制の博士課程第4年次以上の年次相当(在学月数36ヶ月以上60ヶ月未満)に在学する者
- 3.後期3年の課程のみの博士課程第2年次以上の年次相当(在学月数12ヶ月以上36ヶ月未満)に在学する者
- 4.医学、歯学、薬学又は獣医学系の4年制の博士課程第3年次以上の年次相当(在学月数24ヶ月以上48ヶ月未満に在学する者)

申請資格・支給経費・採用期間



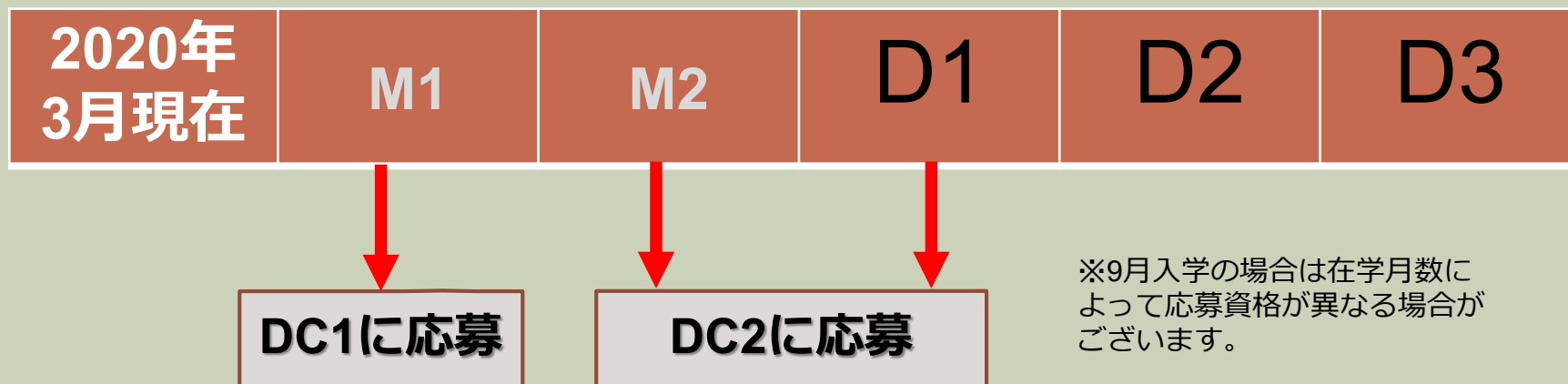
◆応募資格

採用年度の4月1日時点における博士課程累計在学月数が...

- 12ヶ月未満 ⇒ DC1へ応募可能
- 12ヶ月以上36ヶ月未満 ⇒ DC2へ応募可能

※休学期間は在学月数に含まないが、休学期間の合計が6ヶ月未満の場合は在学月数に加算される

4月1日に博士課程入学...



※9月入学の場合は在学月数によって応募資格が異なる場合がございます。

申請資格・支給経費・採用期間



◆特別研究員-PD

1. 令和3(2021)年4月1日現在、博士の学位を取得後5年未満の者（申請時においては見込みでも良い。）

※ 特別研究員PDの採用経験者を除く

2. 受入研究機関等の選定（研究機関移動）

- 受入研究機関については、大学院博士課程在学当時（修士課程として取り扱われる大学院博士課程前期は含まない）の所属大学等研究機関（以下「出身研究機関」という。）以外の研究機関を選定すること。
- 受入研究者については、大学院博士課程在学当時の研究指導者以外を選定すること。

特別研究員-PDの申請資格審査に係るガイドライン

http://www.jsps.go.jp/j-pd/pd_sinsa.html

3. 国籍

日本国籍を持つ者、又は日本に永住を許可されている外国人

申請資格・支給経費・採用期間

申請資格・支給経費・採用期間などの詳細は、募集要項および日本学術振興会のWebサイトをご確認ください。

（日本学術振興会>特別研究員）

<http://www.jsps.go.jp/j-pd/index.html>

申請手続きについて

申請書類について

◆全て電子申請

電子申請システム上で、申請者情報（氏名、学歴等）を入力し、ワードファイルで作成した申請内容ファイル（研究状況・計画等）をシステムにアップロードします。

その2つが合体した書類が申請書となります。

★申請者情報《日本語のみ、Web直接入力》

→氏名・学歴・研究課題名等

★申請内容ファイル《日本語又は英語、Word様式で作成》

→研究状況・研究計画・研究成果等

★評価書(評価者が作成する)《日本語又は英語、Web直接入力》

→PDは2名、DCは1名の評価者に作成してもらう。

これらの書類作成について、作成手続きの流れを説明します。

手続き①

◆ID・パスワードの取得

(過去に東工大で発行したことがある方も改めて発行申請する)

当グループのホームページ、

http://www.rpd.titech.ac.jp/jsps_token/application/a_index.html

各区分の「公募情報」から「ID・パスワード発行依頼書」がダウンロードできます。

必要事項を入力の上、

指定ファイル名のExcelファイルを、**指定件名***のメールに添付し、
研究資金助成グループ (j-fellow@jim.titech.ac.jp) 宛ご提出ください。

(原則、週ごとに木曜日締め→金曜日発行の予定です)

*指定件名以外のメールは、他のメールに紛れてしまうため、ID・パスワードの発行が遅れる可能性があります。

ID・パスワード発行締切：5月7日（木）

RPDのみ：4月9日（木）

手続き②

◆申請書の作成

① 申請者情報（学歴・研究課題名など）《日本語のみ》

→申請システム上で入力して作成（評価書作成依頼もここから）

② 申請内容ファイル（研究計画・研究業績など）《日本語または英語》

→様式(Wordファイル)を学振Webサイトからダウンロードして作成
作成後、電子申請システムにアップロードして提出

③ 評価書《日本語または英語》

→申請システム上で評価者のメールアドレスを入力⇒作成依頼ボタン押す
入力されたメールアドレス宛に評価者用のID・パスワードが通知
評価者はそれを利用してログイン⇒評価書作成・提出

上記すべての書類が揃わないと、電子申請システム上で「**確認完了・提出**」ができません。システム上で「確認完了・提出」まで行わないと、事務チェックはできません。

学内提出締切：5月14日（木）

RPDのみ4月20日（月）

申請書類作成時の注意事項

◆留意事項

- 申請書は、モノクロ印刷されたもので審査されます。モノクロ印刷でも内容がわかるように作成する必要があります。（特に図表等）
- 電子申請システムで「**確認完了・提出**」（**本提出**）を行うには、評価者の先生が評価書を送信済である必要があります。
※電子申請システムで、評価書作成依頼ボタンを押さないと、評価書作成用のID・パスワードが評価者の先生に届きません。
- 申請者情報のシステム入力において、評価者となる先生の部局や部局種別等の情報は、よくご確認した上でご入力ください。
誤って入力されていると、先生が評価書を送信済であっても、情報修正と同時に評価書が差戻しされてしまいます。

申請書の閲覧サービス

過去、学振特別研究員に採用された方より、
ご厚意でご提供いただいた申請書の閲覧サービスを行っております。
＜閲覧のみ、写真撮影・複写は不可＞

◆閲覧場所

大岡山 ： 事務局3号館2階
 研究資金助成グループ 内線7221

◆閲覧時間 平日 9:00～12:15、13:15～17:00

◆事前にメールまたは電話に閲覧希望日時をお伝えください。

研究資金助成グループ 特別研究員担当：03-5734-3806 or 内線（7221）
mail:j-fellow@jim.titech.ac.jp

審査スケジュール

審査

◆選考方法

特別研究員等審査会の委員・専門委員による書面審査・面接審査

https://www.jsps.go.jp/j-pd/pd_nittei.html

≫ 書類提出（6月3日 17:00学振〆切） RPD: 5月7日
学内の締切とは異なります（事務チェックをするため）

≫ 書面審査

6人の専門委員による書面審査、および
書面合議・面接審査区分別部会による書面合議審査

→ 第一次採用内定者（面接免除）と面接候補者を選定

10月中旬頃に結果開示 RPD: 8月上旬頃

≫ 面接審査（12月上旬）

研究計画などプレゼン、質疑応答

→ 1月上旬頃までに結果開示

※ RPD追加書類選考者には、8月中旬頃追加書類選考が行われる

採用内定者には別途、採用手続き等のご案内を行います。

特別研究員申請 Q & A

よくある質問



- Q－2021年4月1日に、東工大とは別の大学の博士後期課程に入学を希望しており、DC1の応募を考えているのですが、どちらの機関で申請手続きを行ったらいいですか？
- A－**現在在学する、東京工業大学**の研究資金助成グループにて、手続きを行ってください。
(※DC2、PDは受入先の機関で手続きを行ってください。)
- Q－現在東京工業大学の博士一貫コース（5年間）に在籍しています。2021年3月に修士課程が修了し、翌4月から博士課程に進学する予定なのですが、この場合、応募区分はどうなりますか？
- A－**DC1**に応募してください。なお、**申請書に記載する「課程種別」は、プルダウンメニューから「博士課程(3年間)」を選択**してください。

よくある質問



➤ Q – 特別研究員-PDと海外特別研究員は併願できますか？

➤ A – **併願できます**が、PDへの応募は研究機関移動の要件があるため、特別研究員-PDと海外特別研究員で手続きをする機関が異なる可能性があります。

(例)

現在東京工業大学博士課程に在籍しており、平成32年3月に博士の学位取得見込である。研究機関移動要件があるため、他機関を受入予定の研究機関として特別研究員-PDに応募する。海外特別研究員についても応募したい。

→特別研究員-PDは【**他機関**】で手続きする

海外特別研究員は【**東京工業大学**】で手続きする

海外特別研究員応募についての、詳細は下記にお問い合わせください。

国際事業課国際基盤グループ

Mail : kokuji.jsps@jim.titech.ac.jp

電話 : 03-5734-7690

受付時間 : 8:30～17:15(12:15～13:15は昼休み)

よくある質問



- Q－現在、博士後期課程の1年次に在学していますが、**令和3年4月に別の大学院博士後期課程1年次に再入学**の予定です。この場合、いずれの採用区分で応募したらよいでしょうか？
- A－令和3年4月に別の大学の博士後期課程1年次に入学し直す場合には、採用後の受入機関を別大学とし、採用区分は「**DC1**」で応募してください。

連絡先

◆研究資金支援課研究資金助成グループ

Mail : j-fellow@jim.titech.ac.jp

電話 : 03-5734-3806 (内線 3806, 7221)

受付時間 : 8:30~17:15 (12:15~13:15は昼休み)

居室 : 大岡山キャンパス、事務局3号館 2 階

正門をセブンイレブンに向かって直進、
道路左手にある検収センターの先隣り